

## 行政視察報告書（報告者：鷹野弘貴）

2月7日水曜日 10時00分から15時30分

白浜町

・観光振興の取組について

- ①観光地視察：千畳敷、三段壁、白良浜、円月島、番所山公園、南方熊楠記念館ほか
- ②白浜温泉街活性化構想推進計画の説明

甲府市議会：輿石 修 金丸三郎 山中和男 岡 政吉 小澤宏至 末木咲子 鮫田光一  
川崎 靖 鷹野弘貴 中島 寿

はじめのあいさつ 輿石 修代表

### 1.白浜町の概況

- ・人口  
20,366人（2023年4月1日現在）
- ・世帯数  
11,124戸（2023年4月1日現在）

### 2.白浜町の概要

白浜町は和歌山県の南部に位置し、大きくは紀伊水道に面した半島地域、富田川下流域及び日置川流域に分かれます。

面積は、200.98平方キロメートルで、県全体の約4.3%を占めることとなります。年間平均気温は16.8度、年間降水量は2,219mmとなっています。温暖で明るく過しやすい気候と言えます。

森林が全体の約81%を占め、北西の半島部に市街地が形成され、南部では海岸地域まで山地がせまり、海岸、河川流域、谷間部に集落が点在しています。町域には、吉野熊野国立公園、大塔日置川県立自然公園が含まれるなど、海・山・川にわたる豊かな自然環境に恵まれた地域です。

交通網は、東京方面へ航空路（1日3便）により約1時間程度で結ばれ、京阪神地域へは、JR紀勢本線、国道42号、高速道路（近畿自動車道紀勢線）などにより約2～3時間でむすばれています。

### 3.白浜町の特産物

- ・中華そば・なれずし・クエ鍋・和歌山牛（熊野牛）・焼き鳥・南紀白浜の海鮮とバーベキュー
- ・精進料理・紀州梅干など

### 4.白浜町の現状と課題

- ①現状 これまでも観光振興にむけて様々な取組を行ってきたが、観光地間の競争が激しくなっていることや地域社会の維持・存続が危ぶまれている。
- ②課題 これまで以上に戦略的な観光地づくりに取り組み、町の活性化につなげることが求められている。

## 5.観光振興の取組

### 世界に誇れる観光リゾート白浜・オンリーワンの観光地をめざして

#### ○白浜温泉街活性化のための計画（白浜温泉街活性化構想推進計画）を策定

対象エリア（中核エリア、広域エリア）を定め、白浜温泉の活性化に向けた取組の「方向性」、「4つの基本目標」、基本目標にもとづく「35の具体的施策」と「11の重点取組施策」、「計画の進め方」を示している。※別紙【概要版】参照

## 6.まとめ

今回の白浜温泉街活性化構想推進計画が湯村温泉街の活性化や地域経済活性化に向けた政策立案や政策実施において、有益な示唆やアイデアを得ることができることを期待しています。

お礼の言葉

山中 和男

## 行政視察報告書（報告者：鷹野弘貴）

2月8日金曜日 9時50分から11時00分

田辺市

- ・たなべ未来創造塾について

企画部たなべ営業室 入口直史 係長

甲府市議会：興石 修 金丸三郎 山中和男 岡 政吉 小澤 宏至 末木咲子 鮫田光一  
川崎 靖 鷹野弘貴 中島 寿

はじめのあいさつ 興石 修代表

### 1.田辺市の概況

- ・人口  
68,448人（2023年12月末現在）
- ・高齢者数  
23,643人（2023年3月末現在）高齢化率 34.2%
- ・世帯数  
34,865戸（2023年12月末現在）

### 2.田辺市の概要

田辺市は、平成17年5月1日、旧田辺市、旧日高郡龍神村、旧西牟婁郡中辺路町、旧西牟婁郡大塔村、旧東牟婁郡本宮町の5市町村が合併して誕生しました。

本市は、紀伊半島の南西側、和歌山県の南部に位置しており、みなべ町、印南町、日高川町、有田川町、新宮市、古座川町、上富田町、白浜町、さらには奈良県野迫川村・十津川村に接し、東西約46km、南北約47km、面積は1,026.91K m<sup>2</sup>で和歌山県全域（4,726K m<sup>2</sup>）の2割を超える近畿最大の面積を有しています。

地形については、平野が少なく海岸部からすぐ山岳地帯へと移行しており、森林面積が914K m<sup>2</sup>と全体の約9割を占めています。地勢としては、西よりの海岸部に面した都市的地域を中心として、日高川、富田川、日置川、熊野川の4つの流域に沿って山村地域が広がっています。

また、気候は海岸部の温暖多雨な太平洋型気候から、山間地における内陸型の気候まで、広範囲にわたっています。

この地域は、神秘的で奥深い森林・山・川の幸、世界遺産に登録された熊野古道・熊野本宮大社や鬮雞神社に代表される歴史や文化、龍神温泉や湯の峰・川湯・渡瀬温泉をはじめとする温泉、自然を生かした多種多様な活動や遊び、気候や地理的条件等に恵まれた農振水産業とその産物を生かした加工業や観光リゾート産業のほか、中心市街地には商業・飲食業や金融・医療・文化・行政機関などの都市的機能が集積しています。

また地域環境を生かし、高品質な梅を持続的に生産してきた当地域独特の農業システム「みなべ・田辺の梅システム」が国際連合食糧農業機関の世界農業遺産に認定されており、田辺市は二つの世界遺産を有するまちでもあります。

さらに、高速道路の南進により、京阪神地域に約2時間、首都圏には飛行機で約1時間という時間距離によっても結ばれています。本市はこのような自然や歴史などの資源が豊かな山村地域と、県南部の都市的機能の中核を担う都市的地域を有する恵まれた環境のもと、「新地方都市」としての発展を目指しています。

### 3.田辺市の特産物

「梅干し」「みかん」「しらす」「ひろめ」「イサキ」「かつお」「南蛮焼き」「ゆずもなか」など

### 4.田辺市の現状と課題

#### ①現状

・全国平均よりも早いスピードで進む人口減少

**人口減少**⇒生活関連サービス（小売・飲食・娯楽・医療機関等）の縮小→就業機会（雇用）の減少

⇒（税収減等による）行政サービスの低下・インフラ老朽化

⇒地域公共交通の撤退・縮小

↓

**生活利便性の低下**

⇒空き家・空き店舗・耕作放棄地の増加

⇒住民組織担い手不足（自治会・消防団…）→地域コミュニティの低下

⇒学校の統廃合→地域コミュニティの低下

↓

**地域の魅力の低下**

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

**さらなる人口減少**

#### ②課題

・将来的に田辺市内全域で人口が減少

・人口減少の要因→2000年（平成12年）以降、出生数が減少し、死亡数が増加している（自然減）

20代前半の若者が他市町村へ移動している（社会減）

世界遺産登録10周年、合併10周年など大きな節目をチャンスにしよう！

↓

平成26年4月にたなべ営業室を創設し、「価値創造プロジェクト」始動へ

↓

持続可能なまちづくりへ

## <取組①>首都圏を中心としたプロモーション

首都圏を中心に、田辺市の魅力をプロモーションする

## <取組②>戦略ビジョン・戦略プランの策定

地方の現場で実践する金岡省吾教授(当時：富山大学)が救世主に！

田辺市で一緒にやってもらえませんか？⇒コンサルへの丸投げはダメ！行政職員が自ら考え、汗をかけ！

### 補助金施策からの転換



地域が生き残るため、地域で「輝く」「稼ぐ」プレイヤーの創出へ

## 地域の中から新しい価値を生み出す第二創業を支援

### 5.地域を救う！たなべ未来創造塾

#### ・たなべ未来創造塾の概要

田辺市では、人口減少を起因として生じる空き家や空き店舗の増加、地域の担い手が不足するなどの地域課題の解決や、世界文化遺産「熊野古道」や世界農業遺産をはじめとする多くの地域資源の活用に向け、企業の営利活動との共通項を探し出し、本業を生かして出来るビジネスモデルの創出、ビジネスリーダーの育成を目指した「たなべ未来創造塾」を2016年(平成28年)に創設。

段階を経ながら人材を育成することにより、ビジョン構築能力、リーダーシップ、意志力、行動力等の資源の習得並びにプロジェクト創出による地域課題の解決と地域経済の活性化の実現、地域の担い手育成、CSV(共通価値の創造)の醸成に向け、継続して取組を進めている。

### 「産学官金(金融機関)」が一体となった運営体制の構築

これからの地域づくり(国土形成計画、地方創生)

地域課題の解決とビジネスの両立

⇒地域と企業が win-win の関係性へ

⇒CSV(共通価値の創造)、ソーシャルビジネス、SDGs…

経済的価値(企業利益) × CSR(地域課題) ⇒ 経済的価値(企業利益) CSV CSR(地域課題)

利益を生みだしながら地域貢献

### 動く仕組みをどう創るか？

#### ① KPIは50%以上動かす

・動きそうな人材をどうすれば確保できるか

#### ②バリューチェーン・サプライチェーンを意識したメンバー構成

・誰と誰がつながりそうか、何か生まれそうか妄想する

生産 ⇒ 加工 ⇒ 物流 ⇒ 流通 ⇒ 消費

③塾生は最大 12 名

- ・一人一人にしっかり寄り添う、一体感が醸成しやすい、フレキシブルなグループ設定が可能

■塾生

- ・対象：田辺市在住または在勤で、田辺市で地域課題を解決する新たなビジネスを創出する意欲のある方。概ね 45 歳以下の方。
- ・定員：10 名程度(少数精鋭。異業種メンバーで！応募多数の場合は、書類選考により決定)

■カリキュラム ※凡そ 7 か月の講義

8 月開講 全 9 回の講義(3 時間にわたる講義+ディスカッション)

12 月ヒアリング 演習(3 回)(ビジネスプラン構築)

2 月修了式

修了式

塾生自らが考えたビジネスプランを発表

- ・一言アピール(1 人 3 分程度)
- ・ポスターセッション(個別説明)

KPI は 50%以上動かす！ 7 期までで 82 名の修了生排出

今期 8 期 13 名 いよいよ 9 期(R6)で 100 人の大台へ！

期を超えて交わることで新しい価値が生まれる！

6.地方創生に向けた様々な取組

■たなべプチ起業塾

- ・女性の新たな起業・副業を支援
- ・地域で“輝く”女性、新しい地域経済の創出へ⇒人口減少の歯止めへ

■神島塾(神島高校×たなべ未来創造塾)

- ・県立神島高校が主催する生徒を対象とした塾。地域について学び、高校生なりの地域課題解決策を考える場。
- ・たなべ未来創造塾終了生は講師として登壇し、自身の実践事例を紹介。  
地元の為に活躍する大人が大勢いることを知る⇒人口流失の減少、将来的な U ターン

■市内の中学校(東陽中学校、田辺中学校など)では市長講義も実施

7.まとめ たなべ未来創造塾を核とした田辺版地方創生

<地方>

熊本大学を中心とした姉妹塾

○熊本県・八代市・玉名市・天草市・阿蘇地域・菊池市・山鹿市

○富山県・南砺市

○和歌山県・田辺市

<地域>

○たなべ未来創造塾

○たなべプチ起業塾・神島塾(神島高校)

<都市>

関係人口施策

○たなコトアカデミー

○熊野 REBORN PROJECT

○こところぼ

自分たちの地域は、自分たちで変えよう！

お礼の言葉

岡 政吉